

# 建設技術審査証明事業 住宅等 関連技術

概要書

## 吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術 「アスシール固化工法（封じ込め工法）」



2024年7月

建設技術審査証明協議会会員



一般財団法人

ベターリビング



技術審査証明書 (縮小版)

## 適用範囲

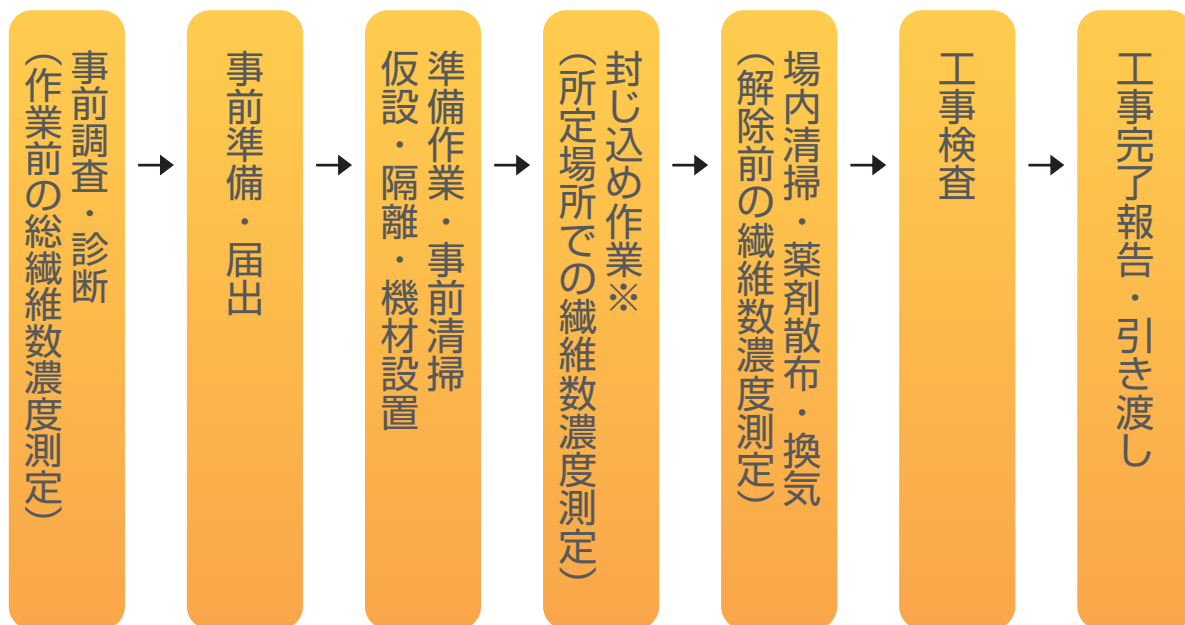
本技術は、既存建築物に施工されている吹付けアスベスト及びアスベスト含有吹付けロックウールの封じ込め工事に適用します。

## 技術概要

本工法は、既存建築物及び工作物に施工された吹付けアスベスト、アスベスト含有吹付けロックウールに対して、アスベスト粉じんの飛散防止を十分に配慮し、かつ関連法令等に則って安全に封じ込める技術です。

本工法に用いる石綿飛散防止剤は、建築基準法第 37 条第二号の規定に適合する、国土交通大臣認定を取得している製品を使用します。

## アスシール固化工法標準施工フロー図



※封じ込め作業手順は、使用する石綿飛散防止剤（大臣認定取得）の施工要領等に従う。

## 技術審査結果の概要

本技術の開発の趣旨及び開発の目標に対して、設定された開発目標の確認方法により審査した結果は以下のとおりです。

- (1) 国土交通大臣認定の石綿飛散防止剤を使用して実施する封じ込め工事に際し、作業区域に隣接する部分の空気1リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数がおおよそ10本以下であることから、汚染を抑制することができるものと確認された。
- (2) 国土交通大臣認定の石綿飛散防止剤を使用して実施する封じ込め工事に際し、封じ込め工事終了後の作業場所における空気1リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数がおおよそ10本以下であることから、建築物利用者の安全を確保することができるものと確認された。
- (3) 封じ込め工事中の作業者は、関連法令等に則って作業を行う等のほか、施工中に発生のおそれがある事故を想定して、その対策を講じていることから、安全を確保することができるものと確認された。

## アスシール固化工法施工例

福岡県某テナントビル機械室



施工前



施工後

埼玉県某大学機械室



施工前



施工後

東京都某駅ビル機械室

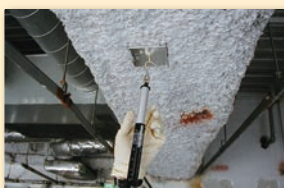


施工前



施工後

東京都某テナントビル居室



施工前



施工後

## 依頼者

菊水化学工業株式会社 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄一丁目3番3号  
AMMNATビル

日本トリート株式会社 〒154-0011 東京都世田谷区上馬3-7-8 トーヨービル3階

## 技術内容及び報告書の入手に関するお問合せ先

技術内容詳細につきましては、下記のいずれかにお問合せ下さい。

法人名 菊水化学工業株式会社

部署 建材塗料事業本部

住所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄一丁目3番3号 AMMNATビル

TEL 052-300-2222 <https://www.kikusui-chem.co.jp>

法人名 日本トリート株式会社

部署 本社 管理部

住所 〒154-0011 東京都世田谷区上馬3-7-8 トーヨービル3階

TEL 03-3424-2020 <https://www.treat.co.jp>